





【別冊2】平成28年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)						実績KPI(実行D)						進捗状況(評価C) H32目標とH27の実績と比べて評価しましょう。 ★○▲×-	4段階評価 (評価C) ★○▲×-	対策 (改善A) 評価に対する改善策を記入しましょう。	対策 (計画P) H28年度の取り組み	進捗状況 (評価C) H28年度実現の見込み 11月頃調査	4段階評価 (評価C) ★○▲×-		
			指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定			設定の根拠	H26	H27	H28	H29	H30							H31	
						H32	H37	H42														
26	9 3)②	就	学	親子料理教室開催数	10	★食育の推進	回/年	回/年	回/年	各学校でも実施しており全体では年1回開催	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	12月12・13日の2日間参加者30名で実施した。参加者からは来年も実施してほしいという声があった。	○	今年度も継続実施。	昨年同様2日間の日程で開催予定。		
27	9 3)③	就	健	朝食摂取割合(小学生)	10	★食育の推進	%以上	%以上	%以上	食育推進計画	%	%	%	%	%	%	朝食摂取割合は増加している。	○	学年に応じた食育事業の継続。	学年に応じた食育事業の継続。		
28	10 4)①	就	学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(強い肯定)小学校	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年	%/年	%/年	小学6年を対象の調査	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	各校でのキャリア教育などの取組もあり、数値も高くなってきており、H32年の目標に達している。	○	意識の高まりが学校生活につながられたり、児童の主体的な活動につながられるよう取組を継続する。	キャリア教育の年間指導計画に沿った取組推進。		
29	10 4)①	就	学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(強い肯定)中学校	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年	%/年	%/年	中学3年を対象の調査	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	各学校では職場体験学習等を実施しているが、意識の高まりにつながっていない状況がある。	▲	数値は高くなっていないが、取組については効果があり継続する。	職場体験や先輩の話聞くなどの取組を継続する。		
30	10 4)②	就	学	学校支援地域本部設置数	14	★地域子ども見守り体制	延校数	延校数	延校数		延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	地域の人材は活用されているが、学校支援地域本部事業の活用には進んでいない所もある。	▲	学校支援地域本部事業が地域人材の活用をシステムとして機能できる学校は活用を推進する。	事業の活用できる学校は積極的に導入を進める。		
31	10 5)①	就	福	相談窓口利用者数	21~24	★相談窓口	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H26の実績値と同数。例年1~2回程度の相談で推移するものと思われる。	—	継続支援	継続支援		
32	10 5)②	就	学	不登校児童生徒の発生率(小学校)	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年	%/年	%/年	高知県の発生率以下を目指す	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H26より数値は下がっていないが、各学校で支援会議の開催や関係機関との連携を積極的に進めている。	▲	SSWの活用や研修を通して職員スキルを高め、相談や連携による取組を推進する。	県の事業を活用するとともに、SSW4人体制とし、SGの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図る。		
33	10 5)②	就	学	不登校児童生徒の発生率(中学校)	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年	%/年	%/年	高知県の発生率以下を目指す	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H26と同じ発生率であるが、欠席日数が少なくなってきた生徒もおり、改善傾向が見られるケースもある。	▲	SSWの活用や研修を通して職員スキルを高め、相談や連携による取組を推進する。	県の事業を活用するとともに、SSW4人体制とし、SGの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図る。		
34	10 5)③	就	生	スポーツ大会開催数	8	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	市長旗等大会	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	○	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の3つとも開催できている	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の3つとも開催できている		
35	10 5)③	就	生	スポーツ大会参加チーム数	8	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	市長旗等大会	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	○	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている		
36	10 5)④	就	市	ひとり親家庭医療費助成利用者数	19	★福祉医療費助成事業(乳幼児等・障害児・者)	人/年	人/年	人/年	継続事業	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	前年度より利用者が増加している	—				
37	10 5)⑤	就	福	児童扶養手当受給者数	4	★一人親家庭へのサポート	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H26の実績値の6.6%増の受給者である。増減の推測は困難であるが、ひとり親家庭は増加傾向になると思われる。	—	継続支援	継続支援		
38	10 5)⑥	就	学	児童生徒の肥満傾向率小学5年	8	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	5年で1割減を目指す	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H26より少し高くなっているが、各学校で個別指導等を実施し取り組むことができている。	▲	目標値には届いていないが、良い取組はできているので継続していく。	食育と会合わせた取組を継続する。		

【別冊2】平成28年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)						実績KPI(実行D)						進捗状況(評価C) H32目標とH27の実績と比べて評価しましょう。 ★○▲×-	4段階評価 (評価C) ★○▲×-	対策 (改善A) 評価に対する改善策を記入しましょう。	対策 (計画P) H28年度の取り組み	進捗状況 (評価C) H28年度実現の見込み 11月頃調査	4段階評価 (評価C) ★○▲×-	
			指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定			設定の根拠	H26	H27	H28	H29	H30							H31
						H32	H37	H42													
39	10 5)⑥	就学	児童生徒の肥満傾向率 中学2年	8	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	5年で1割減を目指す	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H26より低くなり、目標値をクリアした。部活動の効果が大きいと考えられる。	★	全国平均並みを維持できるように取組を継続する。	食育と合わせた取組を継続する。		
40	12 1)①	健康	健康診査受信者数	14~15	★健康診査・がん検診	人/年	人/年	人/年	健康増進計画より	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32年度目標数以上に受診者が増加した。	★	継続実施	継続実施		
41	12 1)②	福祉	外出回数	10	★香南市社会参加のための外出支援サービス	回/年	回/年	回/年	障害福祉計画見込み量参考	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	H32目標を下回る結果については、利用者の死亡や入院によるものである。	▲	利用者の要因によるものであるが、利便性の向上を検討していく。	日曜、祭日の利用や利用時間の拡充を図る。		
42	12 2)①	地域・生	出会いの場の開催回数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)	回/年	回/年	回/年		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	H28年度事業のため実績無し	—	要綱を制定し、4月から事業を実施	婚活を支援するため3団体に助成する		
43	12 2)①	地域・生	参加人数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H28年度事業のため実績無し	—	要綱を制定し、4月から事業を実施	婚活を支援するため3団体(30人)に助成する		
44	13 3)①	健康	パパママ教室参加率	4	★妊産婦支援	%/年	%/年	%/年	子ども子育て支援計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	参加割合が増えH37年度目標に近い値となった。	★	継続実施	継続実施		
45	13 3)②	健康	母子健康手帳交付数	4	★妊産婦支援	人/年	人/年	人/年	人口ビジョン・人口将来展望	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	妊婦数が減少したため公布数も減少。	▲	母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	母子保健コーディネーターが主体となって、母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。		
46	13 4)①	学生	各教室の開催回数	17	★スポーツの推進	回/年	回/年	回/年		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	徳票を達成している	★	継続実施	継続実施		
47	13 4)②	学生	市長杯・教育長杯への参加者数	17	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいているが種目によって増減がある	○	競技人口はいるので周知を徹底し、参加を促す	ホームページへの掲載や口コミでの勧誘を行う		
48	13 4)③	学生	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	17	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	○	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す		
49	13 4)④	福祉・生	ボランティア登録数	20	★地域ボランティア活動支援	人/年	人/年	人/年	登録者数推移過去5年間参考。香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	★	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信をおこなったの募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	ボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。		
50	13 4)⑤	学生	町民運動会参加団体数	19	★三世交代流イベント推進	団体/年	団体/年	団体/年		団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	ほぼ目標に近づいている	○	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う		





【別冊2】平成28年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)						実績KPI(実行D)						進捗状況(評価C) H32目標とH27の実績と比べて評価しましょう。 ★○▲×-	4段階評価 (評価C) ★○▲×-	対策 (改善A) 評価に対する改善策を記入しましょう。	対策 (計画P) H28年度の取り組み	進捗状況 (評価C) H28年度実現の見込み 11月頃調査	4段階評価 (評価C) ★○▲×-	
			指標の名称	事業 NO	個別事業名	目標設定			設定の根拠	H26	H27	H28	H29	H30							H31
						H32	H37	H42													
75	18 3)③	熟	福祉医療費助成 事業利用者数	11	★香南市福祉医療 費助成事業(障害 者)	人/年	人/年	人/年	障害福祉計画見 込み量参考	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H26の実績値の5人増の受 給者数である。増減の推 測は困難であるが、福祉 医療助成者数は増加傾向 になると思われる。	—	継続支援	継続支援		
76	20 1)①	高	特定健診受診率 の向上(65歳~ 74歳)	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
77	20 1)①	高	健康診査受診率 (75歳以上)	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
78	20 1)①	高	胃がん検診受診 率	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	H25%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
79	20 1)①	高	大腸がん検診受 診率	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	H25%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
80	20 1)①	高	乳がん検診受診 率	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	H25%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
81	20 1)①	高	子宮がん検診受 診率	6~ 7	★特定健診・健康 診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	健康増進計画	H25%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度数値は未確定。					
82	20 1)②	高	口腔機能向上教 室および高齢者 食生活改善栄養 教室参加者数	23	★介護予防事業	人/年	人/年	人/年	毎年実施箇所を 変更し継続実施 している。	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	目標とする参加者数には 達していない。	▲	今後も指導者の養成を継 続	食生活改善推進員研修の 継続		
83	20 1)③	高	パークゴルフ・ ペタンク参加者 数	14	★軽スポーツの推 進	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	○	愛好者への呼びかけを行 う	愛好者への呼びかけを行 う		
84	20 1)④	高	特定健診運動習 慣(週2回) 男性	6	★特定健診・健康 診査(週2回30分 以上の運動習慣)	%	%	%	高知県よさこい 健康プラン21	%	%	%	%	%	%	H27年度数値は未確定。					
85	20 1)④	高	特定健診運動習 慣(週2回) 女性	6	★特定健診・健康 診査(週2回30分 以上の運動習慣)	%	%	%	高知県よさこい 健康プラン21	%	%	%	%	%	%	H27年度数値は未確定。					
86	21 2)①	高	凧揚げ・地引網 参加者数	18	★三世代交流イベ ント推進	人/年	人/年	人/年		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	○	事業が天候に左右される ため、また、開催日、内 容を検討することも必 要。	学校行事等との兼ね合い を配慮し、引き続きPR をすすめる。		
87	21 2)②	高	町民運動会参加 団体数	18	★三世代交流イベ ント推進	団体/年	団体/年	団体/年		団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	ほぼ目標に近づいている	○	自治会等に呼びかけを行 う	自治会等に呼びかけを行 う		

【別冊2】平成28年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)						実績KPI(実行D)						進捗状況(評価C) H32目標とH27の実績と比べて評価しましょう。 ★○▲×-	4段階評価(評価C) ★○▲×-	対策(改善A) 評価に対する改善策を記入しましょう。	対策(計画P) H28年度の取り組み	進捗状況(評価C) H28年度実現の見込み 11月頃調査	4段階評価(評価C) ★○▲×-	
			指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定			設定の根拠	H26	H27	H28	H29	H30							H31
						H32	H37	H42													
88	21 3)①	高 高	在宅介護手当・介護用品支給利用者数	1	★高齢者の生活支援	人/年 25	人/年 25	人/年 25		人/年 20	人/年 25	人/年	人/年	人/年	人/年	目標に達成した。	○	今後も周知を図る	広報やケアマネージャーへの連絡会等で周知を図る		
89	21 3)②	高 高	ボランティア参加者数(延)	22	★介護ボランティアポイント制度	人/年 880	人/年 1,120	人/年 1,360	年間48人増加の見込みH27見込み640人	人/年 0	人/年 628	人/年	人/年	人/年	人/年	目標に向けて順調に進んでいる。	○	今後も制度の啓発を行う。	高齢者学級などで、新規ボランティア登録の広報を行う。		
90	22 4)①	高 高	認知症サポーター養成講座受講者数	10	★認知症に対するサポート	人/年 150	人/年 150	人/年 150	市内の小中学校やPTA、地域に拡大し継続	人/年 424	人/年 390	人/年	人/年	人/年	人/年	目標以上に達成できている。	★	今後もサポーター養成事業を継続	小中学校へのサポーター養成講座の継続		
91	22 4)②	高 高	認知症カフェ参加者数	10	★認知症に対するサポート	人/年 56	人/年 56	人/年 56	H42年度までに開催力所を拡大して継続	人/年 0	人/年 47	人/年	人/年	人/年	人/年	目標とする参加者数には達していない。	▲	新たな参加者の拡大に向けて啓発活動を実施	ケアマネージャーや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関と連携し、事業の普及啓発を実施		
92	22 5)①	高 福	ボランティア登録者数	21	★地域ボランティア活動支援	人/年 100	人/年 110	人/年 120	登録者数推移過去5年間参考香南市ボランティアセンターへの登録者数	人/年 87	人/年 103	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	★	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信をおこなっての募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	ボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。		
93	22 5)②	高 高	いきいきクラブ事業参加者数(延)	12	★高齢者の自主活動支援	人/年 5,800	人/年 5,850	人/年 5,900	開催地区数と述べ参加者数	人/年 5,732	人/年 5,665	人/年	人/年	人/年	人/年	目標とする参加者数には達していない。	○	開催地区の運営支援の継続と新規地区への支援	運営支援の継続と新規地区立上げへの支援、地区代表者やボランティアを対象とした研修会の開催		
94	22 5)③	高 高	シルバー人材センター登録者数	26	★定年後の再就職支援	人/年 274	人/年 304	人/年 334	現在の伸び率	人/年 244	人/年 255	人/年	人/年	人/年	人/年	目標に向けて順調に進んでいる。	○	シルバー人材センターの周知の支援や会員への研修	新規会員の確保に繋がるようシルバー人材センターの周知の支援を行う		